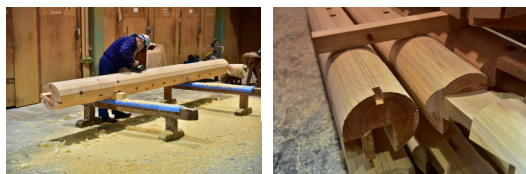


復原工事を支える伝統技術

東楼復原工事は、様々な伝統技術・多くの職人によって支えられています。現場にて、その技法や職人の魂をリアルに感じてください。

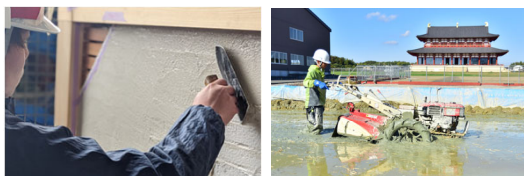
○宮大工

宮大工とは社寺などの日本の伝統的な木造建築を取り扱う大工を指します。大まかな削りは機械加工ですが、最後は宮大工達の手によって一本一本、木材の表面が仕上げられています。



○左官

左官とは建物の壁や床等を、鏝(こて)を駆使して作りあげる仕事のことを意味します。東楼では、左官職人によって材料作りから行われ、土壁がつけられています。



○塗装

塗装とは建物の保護や美観などを目的に屋根や壁、床などの材料に塗料を塗る(皮膜を構成)ことです。東楼では、材料となる塗料を現場で一から調合、管理もしています。



詳しい伝統技術の紹介や
復原工事に関わる職人達の
思いはこちらから→



(近畿地方整備局営繕部HP)



平城宮跡 東楼復原工事



